

# 大会宣言

## おじいと孫の会話

▶孫

ゆぬなかなな むぬいや いふつばかーいありーゆうがい？

おじい、世界に言葉はいくつぐらいある？

▶おじい

おじいまい まあぬっさいんすうが、 6,000 から 6,500 ばかーいびやい。

おじいも良く分からないけど、6,000 から 6,500 くらいかな。

▶孫

うさきなあー ありいーどうな？ やぐみむぬい。

そんなにあるわけ？ すごいね。

▶おじい

6,000 から 6,500 ばかあいていぬむぬいぬなかんかい、  
なうばいぬむぬいどうすういらい ゆがてい、 研究やひいーゆい  
しいしいたまいうながたまたまかんがいやちがいゆうちゃ、  
みゃーくぬむぬいまい うぬ 6,000 から 6,500 ぬなかぬ  
ひていつていどうあっじゃいゆうどう。

6,000 から 6,500 ぐらいというのは、どういった言語が方言に含まれるのかについて、研究者によって見解が分かれているかららしいんだけど、宮古の言葉も 6,000 から 6,500 の中の一つとされているんだよ。

▶孫

あいぬばあーびや。 あうんまい みゃーくぬなかんまい、  
べつぬすまぬおじいたが むぬいやちがいーゆうすがんまほかうすが、  
おじいやんなないっしいどうな？

そうなんだ。でも、宮古の中でも、ほかの地域のおじいの言葉はちょっと違うみたい  
に感じるよ。おじいはみんな分かるの？

▷おじい

たいがいぎゃっしいゆうすうが、まあぬっさいんむぬいまいありいどういちゆうくんていば きていがみゃーくぬ方言まい30ばかあいありいどうちゃ。

うながたまたまぬくらしのぬなかから あっじいちゃいむぬいどう。

いくつかは分かるけど、よく分からないものもあるね。細かく分ければ30ぐらいの方言があるかな。みんな、それぞれの暮らしの中で話されてきた言葉だね。

▶孫

みゃーく、 いみずまやあいすうが うさきなあ ありいどうな？

宮古は小さいのになぜそんなにたくさんあるの？

▷おじい

んきゃーんな、 べつぬすまとうまい うぐなあいまいあたいすうが、

うながたまたまゆうぬなか一っちゆうふい

うぬすまぬん一なかいっさやすかい、

たかさあひい方言ぬっちゆうふあいたいはず。

また、 うつな一やまとうからっちゆいひとんみぬむぬいまい

まっでいうぬすまぬむぬいまいちがいったいはず。

昔は、地域同士の交流もあったけれど、それぞれの地域地域に独自の社会を作り、その中で通じる言葉が大切にされ、方言が出来上がってきたのかもしれないね。それに、島の外からの影響も地域によってそれぞれ違ったんだらうね。

▶孫

くにいがた 博物館がいいふばどう 「方言札」ていあたいすうが、

「方言札」ていやなうやば？

この前、博物館に行ったら、「方言札」ってあったんだけど、おじい、「方言札」って何。

▷おじい

おじいが つわがとすばかーいんな学校きい方言ぬあいていがあ、  
ばつていどう方言札うぬどいからさぎっさいいゆうたい。

おじいがお前の歳の頃は、学校で方言をしゃべったら、罰として「方言札」を下げさせられたんだ

▶孫

方言ひいあいていがー ほうからすむぬやんまいー。

方言で話したら楽しいのにな。

▷おじい

んきゃーんぬ ならーすかたぬどう。  
方言ぬぎゃーあいなていぬならーすかたあたいばどうい、  
方言ひいやらだかあ あっじゃいんむぬいまいあいうが  
方言ぬあひとうぬみいがたかあ うぬすまぬ  
じゃうさーにゃーんふないはず。

昔の教育方針がそうだったからね…。

方言でしか表現できないものがたくさんあるから、

方言をしゃべる人がいなくなったら、その地域の特色がなくなりそうだ。

▶孫

おじい んみやひい 方言ぬならあーひいふいーる。

おじい、もっと方言教えてね。

▷おじい

いっばいならあはっじゃー ちいきのぶんかぎゃーみばかり  
わいていーかないーいきよー。

たくさん教えるから地域の文化を守っていくんだよ。

▶孫

方言ぬいっばいならい んまいいたあい すまぬくうとうーまいかない  
文化うまい たかさあーひい いかでいいいらー あぐんみとまい  
うぐあーういゆうい ひとつんみとうまい いっばいはなっさひい,  
すまぬ方言むにゃーんふならんようん ひいーいかでい。

方言をもっともっと習って、生まれた地域を勉強して文化を守っていくね。

友達や回りの人たちともいっばいしゃべって、地域の方言がなくならないようにしたいな。

## 読み上げ宣言文

世界の独立国としての 200 近くの国々には約 6,000 から 6,500 ほどの言語や方言があるとされ、そのうち約 3,000 の言語や方言が消滅の危機にさらされていると危惧されています。そして 1 年先にはこれらの言語や方言の 100 から 150 がこの地球上から消え去っていくという試算があります。現在使われている言語や方言の約半分が危機的状況にあるのです。

ユネスコは日本において 8 地域の言語や方言が危機的な状況にあるとしました。そして、2011 年の東日本大震災の被災地である茨城県、福島県、宮城県、岩手県、青森県などにおいてもコミュニティーは壊滅的な被害を受け、方言を伝える基盤が脆弱化して多様な文化の源である方言が消え去ろうとしています。

言語・方言は単なるコミュニケーションの道具ではありません。その地域から見た世界観を反映するものであり、そしてその地域が形成された歴史的背景を我々に教えてくれる重要な資料です。言語や方言は価値の体系と文化表現を次世代へ引き継ぐ手段であり、人間の生の遺産の継承に欠くことのできない要素なのです。

沖縄には島としての特異な文化があります。そして宮古も小さいながら、多様性に富んだ文化が各地域の方言で脈々と受け継がれています。それは言い伝え、

格言、唄といった形で継承されてきました。私たちが今、これらのものの保存、継承に努めないと先人たちが培ってきた魂が失われてしまうのです。

アイヌの言葉、サーミの言葉もそうです。でも世界から見るとそれはほんの一部に過ぎません。世界では、いま人類を形成してきた文化が失われようとしています。私たちはその人類形成の経過を物語る言語や方言を守らなければならないのです。

宮古は発信します。島々へ、日本の各地域へ、そして世界へ。

私たちは私たちが生まれ育った地域、そして私たちの存在理由を守るために、私たちの言語や方言を保存、継承していきます。